



## 火の玉は本当にあるの、正体は何なの

### 本当にある火の玉

火の玉は、夜、青白いおをひいて空中を飛ぶといわれています。人魂ともいいます。これまで、火の玉は、死者の体からぬけ出たたましいであるといわれてきました。

最近の研究によると、火の玉は、本当にあるのです。しかし、昔からいわれてきた死んだ人のたましいが光っているわけではありません。火の玉があるということは、最近の研究でわかったことであり、火の玉を実験でつくることに成功した大学の先生もいます。

### 自然のなかでおきる電気のいたずら

火の玉は、プラズマという一種の電気のようなものが原因で発生します。この火の玉は、ぼんやり光ったり、ゆらゆらと動いたりするもので、めったにおこる現象ではないようです。

火の玉というのは、ぴかりと光り、ごろごろとおそろしい音を出すかみなりと同じように、自然のなかでおきる電気のいたずらであると考えられています。つまり、おばけやゆうれいは、なんの関係もないものなのです。

火球といういい方もあり、これは火の玉のことです。（監修・青木 国夫）

